

「地域発！いいもの」として選定された取組等

都道府県	取組名称 (応募企業・団体名)	取組概要	
青森県	地域と育てる明日の技能者育成事業 (景観スポットリメイク事業) (ものづくりでまちづくり実行委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民と交流しながら、公共職業訓練施設である青森県立むつ高等技術専門校がもつ職業訓練の知識や技能を活かし、景観資源のリメイクを実施する取組。 ◆ 実行委員会と訓練生のワークショップやフィールドワークから事業の構想を練り、青森ヒバ材の散策ベンチや井戸枠を製作し、地域のまちづくりに貢献した。 ◆ 公共職業訓練校の技能が地域の活性化に活かされるとともに、訓練生、実行委員会、地域住民が、地域の課題解決や活性化について協働して実施している取組であることが評価された。 	 <p>JR大湊駅での井戸枠ディスプレイ設置作業の様子</p>
石川県	石川の伝統的建造技術の習得・継承及び後継者の育成活動 (石川の伝統的建造技術を伝える会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石川県内の伝統的建造物復元に係る専門工事業の諸団体と連携して、技術の習得・継承等を図るとともに、広く県民を対象に伝統的建造物の見学やセミナーを実施する取組。 ◆ 金沢城菱櫓(ひしやぐら)等の復元工事を手がけるにあたり、9職種の組合が集結。単に復元だけでなく、伝統的建造技術を次世代に継承する機会として後継者育成にも努める取組が評価された。 ◆ また、広く県民を対象に金沢城復元「匠の技」セミナー等を通じて、伝統工法の大切さ、技術の高さ、技能の重要性等を啓発する取組が評価された。 	 <p>セミナーにおける見学会の様子</p>
長野県	信州 匠の時計修理士検定 (長野県時計宝飾眼鏡商業協同組合)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機械式腕時計の修理技能者が激減するなか、独自に技能評価試験等を実施し、高度な修理技能者を育成する取組。 ◆ クォーツ時計の登場により機械式腕時計の修理技能者が激減するなか、独自の実施規程と技能評価基準を策定し、平成16年度から技能評価試験を実施。また、現役の高度熟練技能者を講師に、技術養成講座を開催し、即戦力となる技能者を育成する等、技術・技能の継承を図る取組として評価された。 ◆ 同組合は、組合オリジナルの機械式腕時計「TAKUMISM Shinshu(タクミズム信州)」を製造販売。「信州 匠の時計修理士」の1級技能者が精度調整を組み立てている。 	 <p>「信州 匠の時計修理士検定」の様子</p>
高知県	高知のエジソン(垣内 保夫)賞 (一般社団法人 高知県工業会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「高知のエジソン」と言われている故垣内保夫氏の功績にちなみ、小中学生、高校生、教員を対象とした3つの顕彰制度により、高知県内のものづくり教育の啓発普及を実施する取組。 ◆ 平成16年に創設された「高知のエジソン(垣内保夫)賞」には、小中学生のものづくりに関する夢を表彰する「君たちのすばらしい夢を教えて」、ものづくりに取り組む高校生を顕彰する「次世代のエジソン」、県内のものづくり教育に取り組む工業系教員を顕彰する「地域のものづくり先生」の3部門がある。 ◆ 「高知のエジソン賞」は、現在県内に広く浸透。2012年度の実業秀賞(セーフティランドセル)は、実際に企業が製作する等、関係者の関心も高く、ものづくり教育の啓発、促進に貢献し、地域の産業振興にもつながる取組として評価された。 	 <p>2012年度「君たちのすばらしい夢を教えて」小学生の部、最優秀賞作品の「セーフティランドセル」</p>
熊本県	石橋技術者養成講座 (一般社団法人 石橋伝統技術保存協会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本に唯一残った、江戸期から続く石橋架橋に特化した石工集団の技を継承、活用するため、座学・研修・実習の講座を実施する取組。 ◆ 国内の石造アーチ橋の多くが撤去されているなか、その優れた機能と文化価値を守るため、石橋の保存、修復等を行うとともに、架橋の技能の継承活動を行っている。平成23年度に「種山石工技術継承講座」として始まった本養成講座により、平成27年度までに石橋の構築修復技術を指導できる技能者5名を育成。 ◆ 熊本地震で被災した石橋の復旧や、県内外の石橋の新規築造、修繕・修復を行う等、高度な石工技能の継承の取組であることが評価された。 	 <p>支保工(しほこう: アーチの土台となる木枠)作業の様子</p>